

令和6年8月吉日

各位

非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と質保証に関する研究

代表 京免徹雄（筑波大学）

日本特別活動学会 会長 安井一郎（獨協大学）

文部科学省 EDU-Port ニッポン令和5年度調査研究

「非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と質保証に関する研究」報告会

一次案内

- 1 主催 「非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と質保証に関する研究」チーム
- 2 共催 日本特別活動学会
- 3 日程 令和7年2月1日（土） 13:00～16:30
- 4 会場 対面：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 310
オンライン：Web 会議システム Zoom
- 5 申込 令和7年1月24日（金）までに、以下の URL
あるいは右の QR コードからお申し込みください。
参加費は無料で、どなたでも参加できます。
<https://x.gd/gbWiX>



6 内容

本研究の正式名称は、「非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と質保証に関する研究～日本型教育先進地エジプトにおける Tokkatsu の効果検証～」です。文部科学省 EDU-Port ニッポン「令和5年度 予測困難な時代の学びを保障する学習手法の共有と海外展開に関する調査研究」として、筑波大学を代表機関とするチームが受託したプロジェクトになります。

本研究では、エジプトの小学校で導入・実施されている特別活動（Tokkatsu）の現地化の実態を調査し、個人と社会のウェルビーイングを支える要素ともいわれる非認知能力に与える影響を検討しました。さらに、エジプトの関係者と共同で、質保証を目的とするディプロマ・プログラムを作成することを通じて、国際的通用性と倫理性を備えたグローバル・スタンダードな日本型教育モデルを開発することを目指してきました。

本報告会では、2年間の活用内容および成果について報告します。

7 スケジュール（今後、変更の可能性があります）

- ・調査研究全体の説明
- ・報告1 プロジェクトA Tokkatsu デイプロマの共同開発
- ・報告2 プロジェクトB 小学校における非認知能力育成の効果検証
- ・報告3 プロジェクトC 特別活動の現地化に関するインタビュー調査
- ・報告4 プロジェクトD カイロ日本人学校とエジプト日本学校との交流活動
- ・質疑応答・ディスカッション

8 研究チームの構成員（登壇者は未定です）

京免徹雄（筑波大学・研究代表）、杉田 洋（國學院大學）、山田真紀（椛山女学園大学）、天野幸輔（名古屋学院大学）、相庭貴行（筑波大学大学院生）、安部恭子（帝京大学）、小田純也（筑波大学大学院生）、小泉琢磨（深谷市立藤沢小学校）、清水克博（名古屋学芸大学）、清水弘美（八王子学園なかよし幼稚園）、鈴木純一郎（東京都多摩市立貝取小学校）、瀬戸口暢浩（株式会社パデコ）、添田晴雄（大阪公立大学）、田中光晴（文部科学省）、土屋 愛（熊谷市立久下小学校）、橋谷由紀（日本体育大学）、林 尚示（東京学芸大学）、平野 修（尚綱大学）、平田幸男（至学館大学）、樋口耕平（エジプト教育・技術教育省）、村瀬 悟（みよし市立三好中学校）、秋山麗子（神戸松蔭女子学院大学）、原 圭吾（可児郡御嵩町立御嵩小学校）ほか

9 その他

本研究および成果報告会は、以下の助成を得て開催します。

- ・令和5年度 文部科学省「日本型教育の海外展開（EDU-Port ニッポン）」調査研究「非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と質保証に関する研究」
- ・日本特別活動学会 2023年度重点課題プロジェクト「グローバル・スタンダードとしての日本型教育モデルの開発—Tokkatsu の海外展開の分析—」および「エジプト国における特別活動等のデイプロマの研究」

10 問合せ先

EDU-Port ニッポン「特別活動の国際化と質保証に関する研究」事務局

okada.shizuka.ga#@#un.tsukuba.ac.jp (#@#を@に)

調査研究ウェブサイト

<https://tokkatsu-eduport.education.tsukuba.ac.jp/>

